



10人掛けのテーブルが置かれたダイニング。両脇に設置した鏡板張りのダイニング収納の扉が、霞をイメージした屏風絵を引き立てる。

15 元麻布ヒルズ

RENOVATION CAN GIVE NEW VALUE

理想を形にするMORI LIVINGのリノベーション

Photographs by Satoshi Nagare
Text by Seishi Isozaki
Edit by RCKT/Rocket Company*

閑静な住宅地のなかに、寺社仏閣や大使館が点在する港区元麻布。歴史と文化の薫りが漂うこの街で、元麻布ヒルズは今年開業13年を迎えた。

街で唯一の高層レジデンスである「フォレストタワー」と2つの低層棟「フォレストテラスイースト／ウェスト」は、いずれも開業当時は大半を賃貸用の住戸が占めていた。しかし最近では、賃貸住戸の居住者や新規の入居検討者からの強い希望を受け、分譲の要望に応えている。

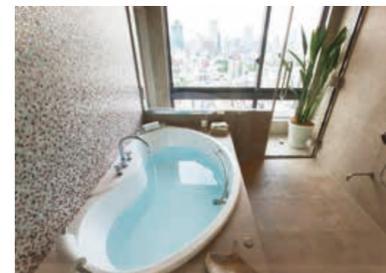
「今後は他のレジデンスでも、一度スケルトンにしてからのフルリノベーションを含め、お客様のご意向に沿った形でご提案・ご提供をしていきたいと思っています」と、森ビル株式会社住宅事業部の小林禎一さんは話す。最先端のデザインから伝統的な手法まで、臨機応変に取り入れるのだという。

リノベーションで部屋をどこまで変えられるのか—その問いに答えるのが、元麻布ヒルズフォレストタワー 25階、2501号室に設けたプレゼンテーションルームだ。東京タワーを正面に臨む、棟内随一の眺望を誇る向きにあるこの部屋の広さは250.87平方メートル。元々、リビングダイニングの両サイドにベッドルームを振り分けた3ベッドルームタイプの住戸だったものを、広大なリビングダイニングを有する2ベッドルームタイプへと作り変えた。デザインコンセプトは「和と洋のユニゾン」。日本の伝統美と西洋の機能美を融合させることで、既成概念にとらわれないインテリアの在り方を提案する。ダイニング収納には昔ながらの手法で職人が一枚一枚鑄込む錫板をはじめとする日本独自の伝統素材を組み合わせる一方、エントランス空間には漆塗りのような光沢がある黒ルーバー、数寄屋建築に欠かせな



透過性のある素材で仕切ったウォークインクローゼットが空間に広がりを持たせる。

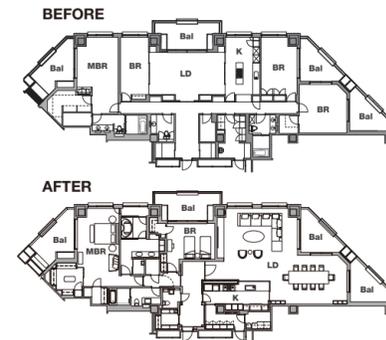
い木工技術である“名栗”風に仕上げた建具扉、手作業で錫箔を施した和紙クロスなど、新しい素材や部材による和的形のリメイクも積極的に採用。世界的に評価が高まりつつある『Cool Japan』という新たな価値観を居住空間に取り入れている。「元麻布」という土地柄、外国籍の方々を含め、グローバルに活躍される方がここを日本の活動拠点とすることを



特注のモザイクタイルで装飾したビューバスはインナーテラス付き。

想定してデザインしました。ここに住まう方々、そして彼らを訪ねてくるゲストの皆さまに、日本の魅力をあらためて感じていただければと思います。

2501号室のリノベーションでは、エントランスホールの右側にリビングダイニングとキッチンを、左側にベッドルームを配置することで、パブリック



3ベッドルームのシンプルな住戸を広大なリビングダイニングを有する2ベッドルームにリノベート。エントランスホールから右側はパブリックゾーン、左側はプライベートゾーンと明確に分け、使い勝手のよいレイアウトを追求した。

ゾーンとプライベートゾーンをはっきりと区別した。都会の絶景を背景としたリビングダイニングは、合わせて54.6帖。ファブリックガラスを組み込んだ引き戸でキッチンを隠せば、生活感を漂わせることなく、レセプションルームとしても活用できる。キッチンはサブエントランスから直接アクセスできるため、ケータリングサービスを利用した際の料理の搬入もスムーズだ。一方で、完全なプライベート空間であるマスターベッドルームには、かねてより要望が多かったビューバスを付帯させた。レインシャワーやミストサウナのほか、音響装置やプリセット調光システムも実装するなど、リラックス効果を上げるための配慮も感じられる。一般的には、水周りの移動は諦めざるをえないことが多いだけに、「ここまでできるのか」と、驚く内覧者が多いそうだ。

「今回、水周りも思い切って動かしたことで、この物件の広さと眺望を十分に生かしながら、使い勝手を向上させることができた」と自負しています。実際のリノベーションでも、既存の物件とはまた違った魅力を持つ住戸を作り上げることをお約束します。リノベーションにより、住む人の理想を形にし、物件にさらなる価値を加える。これもまた、MORI LIVINGが選ばれる理由のひとつだろう。



桜とラベンダーなど、季節の花々に出合える「四季の丘」を中心に、敷地内に豊かな緑を有するのも、元麻布ヒルズの魅力のひとつ。



54.6帖のリビングダイニングの壁材は日本の漆喰に似た、新感覚の左官材で仕上げた。夜はこだわりの照明が空間を効果的に演出する。



元麻布ヒルズ Motoazabu Hills

- 所在地：東京都港区元麻布1-3-1～3
- アクセス：地下鉄「麻布十番駅」徒歩7分、地下鉄「広尾駅」徒歩13分
- サービス：24時間フロントサービス(バイリンガル対応)、ドアマン&ポーターサービス、室内設備メンテナンス(一部有料)、ハウスキーピング(有料)・備考：ペット可(飼育できるペットに制限あり)、トランクルーム、駐車場あり。棟内のスパ&フィットネス「元麻布ヒルズスパ」のほか、都内5カ所にある「ヒルズスパ」利用可(別途有料)。

お問い合わせ：森ビル株式会社 住宅事業部
電話：0120-52-4032 www.moriliving.com